

古河総合病院 採用活動の一環 TikTokスタート

再生総数250万超と反響



「あるあるネタ」などを盛り込んだ古河病院のTikTok動画

古河総合病院(茨城県)は、採用活動の一環としてTikTokを開始、スタートして1カ月半で全動画の再生総数が250万回以上に達し、大きな反響を呼んでいる。動画は1回当たり15～30秒の短いもので、「看護師あるある」など一般の方にもなじみやすい内容。週に1回投稿し、2回目以降の投稿動画も順調に再生回数を伸ばしている。

現段階では認知度向上を目的としており、「医療系ドラマ、どっちが好き？」など専門的な内容を避け、広く目にとまるように工夫。撮影や動画編集は同院の採用業務などをサポートする外部業者に委託し、職員の負担軽減と動画の質担保を図っている。外部業者からはログインユーザーが増えるタイミングで投稿することや、動画に映る看護師が「楽しむ」ようにするなどアドバイスを受けた。

「内容は当院と外部業者でトレンドをふまえ検討し、1動画につき15～20分かけて撮影。第三者目線での内容精査など、質の高いコンテンツができています」と岡田瑠美・看護師長は強調する。

毎回、動画に対するコメントが多く寄せられていることから、同院の認知度向上につながっていそうだ。「徐々に自院紹介や採用活動に関連する動画に変更していきます」と工藤静枝・看護師長。「院内全体を巻き込み、結果を出していきたい」と意欲を見せる。

